



大浦の街を照らす「人の温もり」

暦の上では冬の季節となりましたが、私たちの住む大浦の街は、地域の方々の熱い想いで温かく包まれています。

去る11月1日には、「大浦ハロウィン秋祭り」が盛大に開催されました。主催された梅香崎中学校区青少年育成協議会及び子どもを守るネットワークの皆様のご尽力により、子供たちの笑顔が溢れる一日となりました。

「長崎居留地キッズコーラス」の美しい歌声も、秋空に響き渡りました。子供たちが安心して楽しめる場を、大人が汗を流して作る。その姿こそが、子供たちにとって何よりの「生きた教材」であると感じました。



そして、11月後半には、この街の冬を彩るイルミネーションが点灯しました。

22日(土)には、松が枝公園にて点灯式が行われました。大浦青年会と北大浦地区コミュニティ協議会の皆様が中心となり、今年で実に23回目を迎えます。

今年から「ながさきサステナエナジー」の電力供給を受け、環境に優しい灯りへと進化したそうです。伝統を守りながら未来の環境も考える姿勢は、子供たちに伝えたい大切な視点です。



翌23日(日)には、小曾根公園にて浪の平まちづくり協議会主催の「なみのひらクリスマ

スイルミネーション」も点灯しました。

日が落ちるのが早い季節ですが、大浦の夜道が明るいのは、単に電球の光があるからだけではありません。「子供たちに喜んでほしい」「この街を好きになってほしい」という地域の方々の愛が、一つ一つの光に込められているからでしょう。

保護者の皆様も、ぜひ児童と一緒に足を運び、その美しい光景とともに、それを支える地域の方々の想いを感じていただければ幸いです。

地域の皆様、いつも子供たちを温かく見守ってください、本当にありがとうございます。



一人で悩まないで~地域と学校で支え合う子育て~

11月21日(金)、梅香崎中学校区青少年育成協議会主催・本校PTA(学校保健委員会)共催による「子育て支援講座」が開催されました。

講師には、長崎大学子どもの心の医療・教育センターの岩永竜一郎センター長をお迎えしました。

『子育てをひとりで抱え込まないために』をテーマに、子供の特性を正しく理解する視点について、具体的な事例を交えてお話しいただきました。

岩永先生の分かりやすいお話に、参加された保護者や地域の皆様は時折頷きながら熱心に耳を傾けていました。「特性を理解することが、親子の笑顔につながる」というメッセージは、多くの方の励みになったことと思います。

地域と学校が連携してこのような学びの場を持てたことに感謝するとともに、今後も子供たちの健やかな成長のために、大人が互いに支え合う関係を大切にしていきたいと思います。

